

杉戸町立泉小学校



< 「地域と共にある学校」を目指して >

学校の特徴	学校・家庭・地域と一体となった学校づくり				
所在地	杉戸町	児童数	116名	活動期間	37年
活動内容	古代住居保存会を中心とした学校応援団による、泉小学校区に受け継がれる歴史や伝統を学習に生かした取組 学校運営協議会による、地域が支え・応援する体制づくり				

特徴的な活動

本校には、昭和60年に復元された古代住居があり、学校や地域のシンボルとなっている。この古代住居を復元当時から管理している古代住居保存会は学校応援団として、本校の様々な体験活動や環境整備のサポートをいただいている。また、令和2年度から学校運営協議会を設置し、学校応援団等の地域学校協働活動を束ね、互いの情報共有や活動連携を図りながら効果的な教育活動へと結びつけるための活動に取り組んでいる。

地域が支え・応援する体制づくりは下記の通りである

- 1 環境整備応援団…除草活動、樹木の剪定伐採、植栽活動
- 2 安心・安全見守り応援団…登下校の見守り、安全啓発活動
- 3 学習サポート応援団…学習支援
- 4 古代住居保存会応援団…古代祭り(写真下)を中心とした地域の歴史学習

○歴史学習…古代祭り(古代服を着て、火おこし体験や古代米の飯盒炊爨体験を縦割りで行う)

古代米づくり(田植え・稲刈り)、発掘された埴輪や古墳の地域歴史学習

学校運営協議会が設置され、各組織が互いの活動が見える化することで相互の活動援助となり、また、児童は学習活動の中で「地域」を意識することで、地域社会と学校のつながりや地域への参画意識を高め、さらに児童の郷土愛を高めることにつながっている。



【古代住居】



【安全啓発活動】



【古代祭り 火おこし体験】